

オルビス、日本初^{※1}の肌への機能があるトクホ「オルビス ディフェンセラ」に関し 越境 EC プラットフォーム「天猫国際(Tmall Global)」と戦略提携

ポーラ・オルビスグループのオルビス株式会社（本社：東京都品川区、社長：小林琢磨）は、日本で初めての発売となる肌への機能があるトクホ「オルビス ディフェンセラ」について、中国のアリババグループが運営する越境ECプラットフォーム「天猫国際（Tmall Global、以下天猫国際）」と戦略提携し、2019年2月より天猫国際にて販売を開始します。

天猫国際がもつ広告媒体やビッグデータを活用し、同商品に関する販売戦略を両社で立案・実行することで、初年度売上10億円を目指します。

本商品を足がかりに、中国国内でのオルビスブランドのプレゼンスを拡大し、スキンケアを中心とした中国事業のさらなる成長加速を図ります。 ※1 日本で初めての発売（2018年10月3日より一部先行販売実績有り）

戦略提携の経緯

2017年の日本から中国への越境EC市場は、前年比25.2%増の1兆2,978億円と拡大傾向にあり（経済産業省調べ）、中国の消費者にとって越境ECでの日本製品の購入は非常に身近なものとなっています。

天猫国際は、中国越境ECにおける最大手プラットフォームであり、世界各国の様々な有力ブランドとの積極的な提携を通じ、中国市場におけるブランドの成長、発展を支援し、ブランドと一体となった販売施策を数多く実現しています。また、アリババグループが保有するビッグデータを活用し、他のECプラットフォームにはない総合的な販促支援体制を構築しています。

この度、オルビスは海外事業展開で重要視している中国市場において、オルビスブランドのプレゼンス拡大を目的とし、天猫国際と販売に関する戦略提携を結び、天猫国際と連携したプラットフォームでの販売促進と、ビッグデータを最大限活用することで、オンライン、オフラインの様々なメディアで「オルビス ディフェンセラ」のプロモーションを展開していく予定です。

また、天猫国際も日本初^{※2}の肌への機能があるトクホ商品という、中国を中心とした海外の消費者から高い関心を寄せられることが期待される同商品を販売する権利を得ることで、売上のさらなる拡大が見込まれることから、両社の狙いが合致し、今回の提携に至りました。

オルビス ディフェンセラについて



「オルビス ディフェンセラ」は、肌への有効性、安全性などの科学的根拠を示して、国の審査のもとに消費者庁の許可を受け販売している日本で唯一^{※2}の「特定保健用食品（トクホ）」です。玄米1トンからわずか約2gしかとれない希少性の高いグルコシルセラミドにより、“インナーアクアバリア^{※3}”を形成し、肌の水分を逃がしにくくすることで、透明感とうるおいに満ちた肌へと導きます。従来の化粧品でのケアにとどまらない、新しいスキンケアアイテムとして、乾燥肌に悩む方にとって新たな選択肢となることを目指します。

※2 2018年10月3日時点 ※3 水分を逃しにくい肌にする

「オルビス ディフェンセラ」 45g (1.5g×30包) 30日分

3,200円 (税込3,456円) *日本国内価格

日本：2019年1月1日発売 国内販売ルート：通信販売、全国のオルビス・ザ・ショップ

中国：2019年2月以降発売

その他海外展開：台湾 シンガポール（発売時期未定）

天猫国際について

天猫国際は、アリババグループにおけるグローバル戦略の中核的事業として、2014年2月に正式に立ち上がりました。アリババグループ唯一の海外製品の中国消費者向け輸入・販売を行うプラットフォームであり、中国国内における越境輸入EC 保税区分モデルの先駆けでもあります。また、過去4年間にわたり、天猫国際の市場規模は中国越境小売輸入市場をリードし続けており、保税区分モデル、直送モデルでの受注数量はトップを維持しています。中国で最も早い創業、且つ最大の越境輸入ECプラットフォームとして、今後も天猫国際は越境輸入EC市場でトップを維持し続け、将来31億人の中国中産階級消費者に対してサービスを提供していきます。